



運搬



広瀬幸平

55
まいん

くろいしえきあと
黒石駅跡
ひのきおがわばし
檜尾川橋



黒石駅

昭和11年撮影 別子銅山記念館所蔵

くろいしえき
黒石駅は、別子
鉾山鉄道下部線(以下、下部
鉄道)の駅です。

下部鉄道が敷設された明
治26年(1893)当初は、
はでぼいたのもと つちほし
端出場駅、板ノ元駅、土橋
駅、惣開駅で、黒石駅は設置
されていませんでした。

八十余年の歴史と共に
今に残る駅舎跡
プラットホーム

その後新居浜の工場地帯の発展により、昭和4年(1929)、別子鉾山鉄道が専用鉄道から地方鉄道に切り替えられたことにより、一般にも利用されるようになりました。

その際、黒石駅、山根駅、星越駅が新設されました。(なお、板ノ元駅は、山根製錬所の廃止に伴い廃駅)端出場から惣開までの間を約40分かけて走っていました。

昭和11年には新居浜港線、昭和17年には国鉄新居浜駅との連絡線があいついで増設されました。

昭和25年には電化も行われ、電気機関車は部品を日立製作所から購入、けん引力増強のため別子鉾業所工作課で自社製作されました。

しかし、バスの普及により昭和30年1月にはもとの専用鉄道に戻りました。

その後、昭和48年に別子銅山の閉山、昭和52年には台風による被害が重なり、下部鉄道は廃止され、84年の歴史を閉じました。

ひのきおがわばし
檜尾川橋は、明治26年下部鉄道の敷設にともない建設されましたが、明治32年8月28日の別子大水害により倒壊しました。

その後復旧され、さらに昭和6年(1931)ころにコンクリート構造としてかけ直され、現在に至ります。

※この場所への立ち入りについては住友金属鉾山(株)別子事業所の許可が必要です。



現在の檜尾川橋



これな〜んだ?

これは、黒石駅沿いを歩いていると、ひっそり存在しています。さて、これは何でしょうか？(ヒント・駅)

答えは、裏にあります。

